

平成18年4月3日

平成18年度定期採用者入庫式について

横浜信用金庫（横浜市中区尾上町2-16-1 理事長 斎藤寿臣）では本日午前10時より、平成18年度定期採用者の入庫式を行ないました。今年度は、総合職47名、一般職48名、合計95名が入庫し、60部店に配属されました。入庫式では、斎藤理事長より以下の訓示がありました。

*理事長訓示の要旨

当金庫は、我が国で最も経済的な先進地域の一つである横浜市を主たる経営基盤としています。この地域は、様々な企業が集積し、消費力も高く、景気上昇の波を最も敏感に受ける地域です。競争が激しい反面やりがいもあり、努力すれば必ず報いられると考えています。皆さんも一日も早く職場に溶け込み、立派な職員となることを期待しています。

これから皆さんが当金庫で働くにあたって次のことを心がけて下さい。

- (1) 約束や時間を守る、健全な生活を送る、また真面目な執務態度や正確な事務処理、きちんとした身だしなみ等に心がけ、お客様から信用される職員になること。
- (2) 取扱業務が増えており、幅広い金融知識が必要になるので、研修プログラムや通信教育講座などを積極的に活用し、自己能力の向上に努めること。

心配事や悩み事は職場の上司や先輩に相談して一人で抱え込まない、また節度のある生活を送り、心と身体の健康管理に気をつけること。

*定期採用者内訳

・総合職	47名	(大卒：47名)
・一般職	48名	(大卒：30名 短卒：14名 専門卒：4名)
合計	95名	男性：39名 女性：56名

たしかな明日のお手伝い



神奈川・東京に60店舗

